

『ポチポチのとしょかん』

いがわ ゆりこ／文・絵 文溪堂

あるひ、ぼくがとしょかんのまどをみていると、こいぬがすわっていた。こいぬは「ぼくのとしょかんへいってみないかい？」とぼくをさそってくれたんだ。

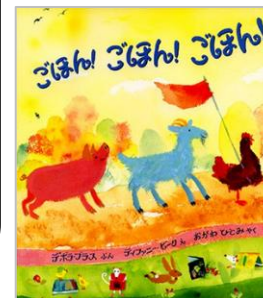


『きょうりゅうバスでとしょかんへ』

リウ スーユエン／文

リン シャオペイ／絵 石田 稔／訳
世界文化社

ミミとココとフェイフェイは、としょかんのおはなしのじかんにおくれそう。でも、だいしょうぶ！きょうりゅうバスにのればあっというまにとしょかんにとouchやくするよ。



『ごほん！ごほん！ごほん！』

デボラ・ブラス／ぶん ティファニー・ビーク／え
おがわ ひとみ／やく 評論社

まきばのどうぶつたちが、としょかんへやってきた。でも、としょかんのししよさんは、どうぶつたちのことばがわからず、こまってしまい…。



としょかんがでてくるえほん

幼児向け



『本がきらい本がすき』

マリアホ・イルストゥラホ／さく・え
おかわ さら／やく KTC中央出版

せっかくのやすみなのに、ほんをよまなきゃいけないなんて、そんなのいやだ。としょかんにいくななんて、ほんとさいあくとおもっていたけど…。



『よるのとしょかん』

カズノ・コハラ／作 石津 ちひろ／訳
光村教育図書

ここは、よるだけあいている、よるのとしょかん。カーリーナと3わのふくろうたちが、はたらいています。きょうは、どんなおきやくさんがやってくるのでしょうか。



『ふねのとしょかん』

いいい つとむ／〔作〕 文研出版

きょう、ぼくははじめて“ふねのとしょかん”にのるんだ。ふねのなかには、ほんでいっぱい。おともだちもたくさんいるよ！